

問題		得点率 (%)	問題		得点率 (%)	問題		得点率 (%)
1	(1)	76.2	3	(1)	71.0	4	(1)	41.0
	(2)	88.7		(2)	26.1		(2)	32.2
2	(1)	49.1		(3)	67.9		(3)	9.1
	(2)	59.6		(4)	18.7	5	(1)	71.4
	(3)	48.5	(2)	44.9				
	(4)	45.4			(3)	30.4		

合格者最高点 90  
合格者最低点 50

1 計算問題です。確実に得点できるように、練習しておきましょう。

状況に応じて仮分数と帯分数を使い分けられると、計算がしやすくなります。

2 小問集合（標準）です。標準的な問題ですので、ぜひ正解を積み重ねてほしい4題です。

- (1) 過不足算の問題です。2種類のアメの詰め方において等しいものに注目することがポイントです。条件を正しく整理し、確実に得点してほしい問題でした。
- (2) 平面図形の問題です。長さが与えられていないので、正方形の1辺の長さを仮に具体的な数でおくなど、問題を見やすくすると解きやすくなります。
- (3) 食塩水の濃度の問題です。食塩水の移動の様子を図などで整理して考えるとよいです。
- (4) 比の問題です。この市全体の人口密度と各区の比をどのように計算するかがポイントです。基準の違う比の扱い方に注意しましょう。

3 小問集合（応用）です。応用的な問題ですので、1題でも多く正解を積み重ねてほしい4題です。部分点を加算する問題が2題あります。考え方を答案にしっかりと書くようにしましょう。

- (1) 和差算の問題です。なしの代金だけ1の位が5であることがポイントです。
- (2) 平面図形の問題です。切り取り後の二等辺三角形が12枚重なっていることに気付くことがポイントです。一つ一つの要素は標準的なので、落ち着いて取り組むようにしましょう。
- (3) 数の性質の問題です。分数を2つの分数の差に分けることができれば、計算が楽にできます。誤答の多くは、差に分けるときに2で割るのを忘れていたものでした。
- (4) 平面図形の問題です。2回通過した部分を重複して計算していた答案がいくつかありました。それでは条件に合わないことに気付いてほしいです。

4 速さの問題です。

- (1) 割合で与えられた道のりを利用して時間を求める問題です。AからCまでとBからCまでの道のりを比で表すことがポイントです。文章をよく読んで、状況を理解することができれば、(2)(3)と続いて解くことができますので、差が開いた1題でした。
- (2) コースを1周するのにかかる時間と道のりの比から実際の道のりを求める問題です。AB間を走ると仮定して考えることがポイントです。
- (3) 同じ時間だけ走った後、一直線になるという条件から残りの道のりを出す必要がある問題でした。(2)を解く際に出てくる数値を使う問題なので、手が付けられていない答案が多く見られました。

**5** 整数の問題です。

- (1) 3桁の奇数の個数を求める問題です。確実に正解してほしい問題です。
- (2) 各桁ごとの奇数の個数を求めれば解くことができますが、(1)を間違えると答えが合わなくなってしまいます。
- (3) 場合分けをして考える問題です。場合分けの仕方によっては、もれなく、重複なく正確に数えることが難しかったようです。どのような場合分けをすると数えやすいかを考えることがポイントとなります。